

特別授業



3.11 後に企画した 展覧会とプロジェクト

～あいちトリエンナーレ 2013 を中心に

講師

五十嵐太郎

東日本大震災の後、3つの展覧会を企画しました。また被災地において、建築と美術を横断するプロジェクトにも関わりました。そこで芸術監督をつとめた、あいちトリエンナーレ二〇一三を中心に、アーテイストや建築家がどのように向き合ったかについて振り返りたいと思います。
(五十嵐)

講師プロフィール

五十嵐 太郎 (いがらしたろう)

1967 年生まれ。建築史・建築批評家。1992 年、東京大学大学院修士課程修了。博士 (工学)。現在、東北大学教授。あいちトリエンナーレ 2013 芸術監督、第 11 回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッショナーを務める。第 64 回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。『現代日本建築家列伝』(河出書房新社)、『被災地を歩きながら考えたこと』(みすず書房) ほか著書多数。

6/8 (月)

午後 3 時～(5 時終了予定)

場所 京都市立芸術大学 大学会館交流室

主催 京都市立芸術大学美術学部

共催 芸術資源研究センター

問い合わせ先

教務学生課美術学部担当

Tel / 075-334-2220

芸術資源研究センター事務局

Tel / 075-334-2231